

ハーツ学園店

取組内容詳細 及び 現地調査状況

1. 紙ごみの削減・再資源化の推進

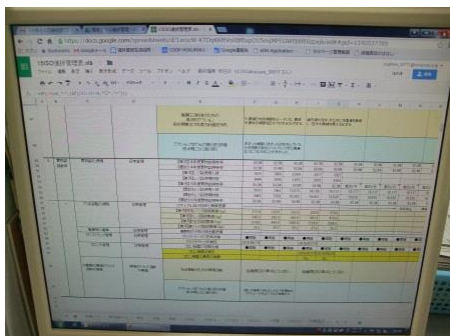
- ・裏面をメモ用紙や社内文書の印刷等に再使用している。
- ・OA用紙や機密書類、シュレッダーなどの紙ごみエコセンター（自社）にて処理



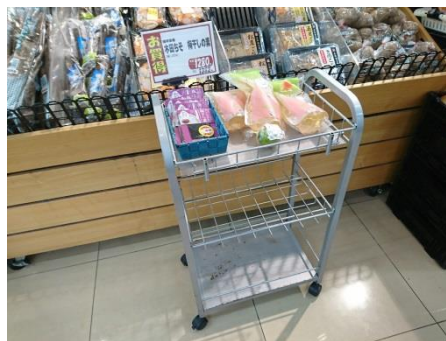
OA用紙の裏面を再利用し、社内文書に活用している。

2. 生ごみの削減・再資源化の推進

- ・規格外野菜のもったいない市の開催
- ・賞味期限切れ商品（売れ残り商品）の削減
- ・水切りや分別による廃棄物の削減
- ・食品残渣のリサイクル化



ハーツ全店のデータ内容が即座に確認できるように各店舗で情報共有している。



見切り品コーナーで賞味期限が近い食品を安価出販売し、売れ残りを削減している。



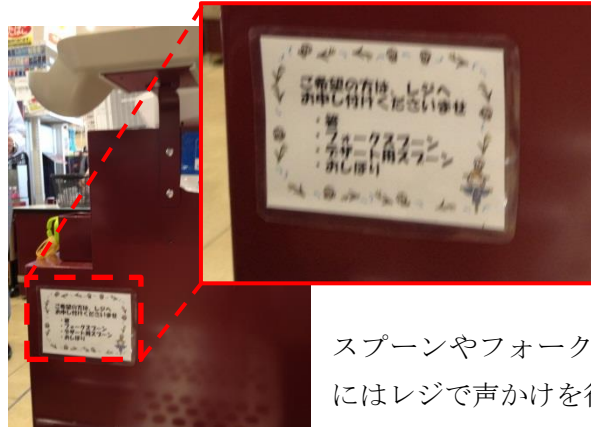
「もったいない市」として規格外野菜を販売

3. 事業所ごみの再使用、再資源化の推進

- ・飲料容器（びん・缶・ペットボトル等）ごとの回収箱を設置し、個別に回収

4. 使い捨て用品の使用自粛

- ・仕入れや商品の搬送時の通い箱の推進



スプーンやフォークを希望の方にはレジで声かけを行っている。

搬送時はすべて通い箱を使用している。

5. レジ袋削減に向けた取組の推進

- ・レジ袋の有料化を実施
- ・声かけ・チラシ・店内表示などにより、レジ袋辞退・マイバッグ利用の啓発を実施



レジ袋の有料化の案内やレジでの声かけによる対応を行い、マイバック利用の啓発を実施している。

6. 梱包の削減・簡素化

- ・商品の簡易包装化（ノントレー食品）
- ・リサイクルできる梱包材や包装材の使用
- ・商品のばら売り・量り売りの実施



ノントレー食品の販売による簡易包装化



フライ惣菜コーナーではプラ包装ではなく紙袋を推奨している。

7. 資源ごみの店頭回収の実施

- ・使用済み製品や資源物（缶・びん・ペットボトル・プラ容器包装等）、小型家電等、インクカートリッジなどを実施



トレイ、ペットボトル、古紙など店頭回収を行っている。



小型家電・インクジェットカートリッジ専用の回収箱を設置し、リサイクルに取り組んでいる

8. 店舗内でのゴミ削減・再資源化啓発

- ・ゴミ削減やリサイクル推進のための職場のルール作成、内部組織の設置
- ・ISOの教育を定期的に実施している。（6月実施）

9. 店舗外へのごみ削減等活動PRの実施

- ・消費者に対し、刊行物、自社ホームページなどで、ごみ削減等活動をPR



消費者に機関紙で取り組み内容をPRしている。



回収した資源物の流れを公開し、削減の意義を消費者に情報共有している。



10. 店舗内のごみ発生量等の把握

- ・年度ごとに発生するごみ量等を集計
- ・紙などの購入量や使用量を管理し、従業員にその状況を周知



電気使用量デマンドを設置し、設定数値を超過した場合、アラーム警報が鳴る仕組みを採用している。



夏季・冬季時のエアコンの設定温度を従業員に周知している。



11. 環境に配慮した商品の購入又は製造・販売

- ・エコマーク製品やグリーンマーク製品、あるいはグリーン購入法に基づく文具・事務用品等を購入
- ・再資源化の容易化・長寿命化・小型化などの環境に配慮した製品づくり
- ・環境に配慮した商品を優先的に入荷・販売
- ・エシカル消費の推進



芯なしトイレットペーパー「コアノン」を販売。利用者数が増えている。

12. 社会貢献活動等の実施

- ・環境に関する活動取り組み内容の一般の方への公開



エコキャップを集めてポリオワクチンへの寄付を行っている。

13. その他の3R推進に関する取組

- ・SDGs（持続可能な開発目標）について7つの行動目標を設定し、サステナビリティレポートを通じて実施状況を公開している。

